

【相談】



等級「6H」のめねじや「2級」のめねじは、YAMAWAの標準等級の切削タップで加工ができますか？

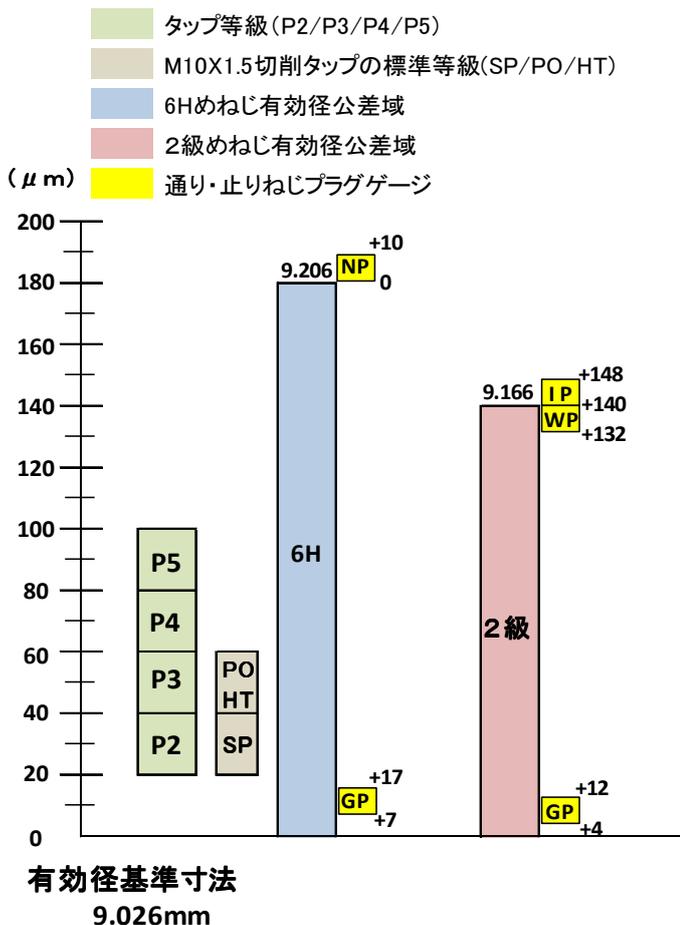
【回答】

もちろん加工ができますよ。  
切削タップのYAMAWA標準等級は、等級 6Hめねじや 2級めねじの加工を対象にして設定しています。  
下記に、等級 6Hめねじと2級めねじの有効径公差範囲やタップ等級とゲージ位置関係の1例を記載しましたので、参考に見てくださいね。



【説明】

例) M10X1.5: めねじ有効径公差とタップ等級とねじゲージの位置関係をしめします。



YAMAWAの切削タップ M10X1.5の標準等級は、SPタップが「P2」、POタップとHTタップは「P3」のP級精度に設定されています。

これらタップの標準等級「P2」や「P3」は、6Hめねじや2級めねじ有効径公差域内にあります。また、切削タップの加工性を考慮して、公差域の下限より設定されています。

加工機に大きな送りムラや振れが無ければ、標準等級のタップで問題なく6Hめねじや2級めねじが、加工できます。

めねじ等級とタップ等級の関係が、良くわかったよ！  
図で表すとわかりやすいね。



【アドバイス】



切削タップで加工されためねじは、加工環境によっては、めねじの山やせ拡大問題が発生する場合がありますので、タップ加工後は「通り・止りねじプラグゲージ」で検査を行うことが大切です。